

教育活動

事故が起きてから救助をするのではなく、未然に防ぐことがサーフライフセービングの最大の目的です。オーストラリア・サーフライフセービング協会(SLSA)では、幅広いプログラムを提供して海辺の事故防止に貢献しています。

子ども向けプログラム

SLSAは現在、8～12歳の小学生向けに“Surf's Up”プログラムを提供している。毎年夏になるとビーチの事故が絶えないオーストラリアにおいて、若いうちから海について正しく知ることによって将来の事故を防ごうという目的である。カリキュラム・コーポレーション (Curriculum Corporation : オーストラリアの教育制度の向上を目的とする団体)の協力を得て作られたこのプログラムは、「サーフ・サバイバル (Surf Survival)」、「サーフ・アウェアネス (Surf Awareness)」、「サーフ・スマート (Surf Smart)」、「サーフ・セーフティ (Surf Safety)」から構成されており、海に対する理解とベーシックなレスキュー技術を身につけるために特別にデザインされている。また、“Beach to Bush”プログラムではビーチから離れた内陸部に住む



子ども達に救急箱の中身を説明する

Photo courtesy of Cottesloe Surf Life Saving Club

子ども達に、その土地の川や池などを利用してサーフライフセービングを紹介している。2005年には、70人以上のライフセーバーが国内を一周し、40,000人の小学生にビーチの基礎知識や水辺での安全対策などについてレクチャーを行なった。



一般向けプログラム

サーフライフセービングクラブや地域団体の協力を得て、一般向けのプログラムも行なわれている。救急処置や蘇生術などのレクチャーと共に、海を理解するための多くのコースを提供しているほか、シドニー大学の大学院で行われている沿岸マネージメント (Coastal Management) というコースにも協力している。

ライフセーバーになるためには

各ビーチの安全を守るライフセーバーたち。オーストラリアでその活動を行うには、どのような資格が必要なのでしょうか。

ブロンズ・メダリオン Bronze Medallion

1910年に、救命技術の基準を定めるためにブロンズ・メダリオンという資格制度が導入された。これは、オーストラリアでライフセーバーとして活動するために必要最低限の資格であり、毎年国内外の数多くの人々が取得を目指している。

【テストを受ける条件】

15歳以上、400メートルを9分間以内で泳げること。

その後、資格を持つインストラクターのもとで約2ヶ月のトレーニングを受けること。

【テスト内容】

●体力テスト (Run-Swim-Run)

200メートルのビーチ・ランの後、200メートルの水泳、そして再び200メートルのビーチ・ランを8分間以内で終える。

●理論、蘇生術、救急処置のテスト

●レスキューボードとレスキューチューブを使った救助シミュレーション